

「確率統計学演習」授業評価報告

数学教育講座・原本博史

1 授業の概要

今年度の確率統計学演習では、統計検定3級に合格できる程度の確率・統計に関する基礎知識を身につけることを目標に、理論的な取扱だけでなく計算機による実習を交えて授業を行った。

教科書は日本統計学会による試験対策用教科書を利用した。資格試験用の書籍ではあるが、新学習指導要領の統計分野を網羅しており、幅広い読者層を想定した構成であることが理由である。

本来ならば統計検定3級に相当する期末試験を実施し効果測定を行う予定であったが、実現しなかったことが残念である。受講生にはぜひ統計検定3級の試験を受験し資格を取得してほしい。

2 授業評価・授業研究など

今回は遠隔授業であったが、学問の特徴もあり、対面式よりも良かったと感じる点もある。特に普段の授業では殆ど無い質問が数多くあったことは、想定内とはいえ大きい。多くの場合、質問内容は他の受講者にも有益であるため、なるべく早く回答をMoodleに掲載して対応した。誤植の修正についても効率的な対応ができた。

データの分析能力に対する社会的要請は、近年急激に高度化しており、難易度・分量ともに数学教員に対する期待は過去に比較するものがないほどである。履修にかなり苦労した様子が伺えたため、一時は内容の精選も検討したが、統計検定3級が高校卒業程度の能力を測る基準であることもあり、水準の維持を優先した(実際、数多くの高校生が3級に合格している)。

以下、学生アンケートのうち、自由記述の部分をもとめる(類似意見はまとめている)。

良かった点

- 質問に的確に素早く対応してもらえた
- メールでの質問が他教科よりも行いやすい点。質問とその解答が共有されている点

- 課題の分量に見合った提出期限の設定や、質問やスライド内の修正に関して対応が早かった点は良かった
- 質問への返答では、関連することも教えてくださったところ EXCEL で課題を行う際に、関連する数式のサイトや参考にさせていただけるようなサイトを付けてくださっていたところ
- スライドに要点をまとめてもらっているので学習が進めやすかった点。自分のペースでひとつひとつ理解しながら取り組めた点
- Excel の使い方がわかるようになったこと。表の読み取りができるようになったこと
- 本の内容で大事なところが簡単にまとめられていた
- 質問しやすい雰囲気を作ってくれた点
- 教科書の課題だけでなく、新たな課題を提示してくれたこと

改善を要する点

- 難しい内容の部分は直接指導がよかった
- 資料内の誤りがとても多かった
- Moodle 上に提出期限を設けてくださった方がやりやすかった
- ビデオなどで説明が欲しかった
- スライド問題の回答がないのであっているのかわからない点
- 少し内容がむずかしかった
- 授業時間分を補うとはいえ、宿題の量が多い

本年度は急な遠隔講義ということもあり、(教科書の誤りも含め)資料については十分な準備をせず公開することになった。その中で受講生が寄せてくれた指摘はなによりありがたい資産だった。この点感謝の意を表したい。

動画教材はさまざまな制約もあり今年度は見送ったが、回帰直線の説明に用意したような動的な教材を、卒業研究等を利用して作成し、来年度には公開したいと考えている。